



軍装の歴史と陸上自衛隊の新制服

軍装史研究家 辻元 よしふみ様

卓話者紹介

奥山 聡会長

昨年から陸上自衛隊の制服が変わり 5 年かけてチェンジします。辻元様は新制服の有識者会議に出席し貢献されました。

軍服もファッションの一種で、流行があります。どういふ要素がその時代の軍服の主流になるかと言えば、「その時代の最も強い軍隊」の軍装が、他国に影響を与えます。また、同盟関係にある国同士でも影響し、非常に政治的であり、国際関係を反映するものです。

その一例として、自衛隊などで使用している制帽の歴史について見てみましょう。外側に大きく張り出した独特の帽子は、日本では一般的に「官帽子」と呼んでいます。警察官とか自衛官とか、官職についている人の制帽としてよく使われるからですね。こういう帽子を英語圏ではピークドキャップ Peaked cap、ドイツ語圏ではシルムミュツェ Schirmmütze と呼びます。いずれも「ツバ付きの帽子」の意味です。というのも原型はツバがない帽子だったからで、遡ればルネサンス期の聖職者の帽子が起源です。これは聖人や天使の頭部にある光輪を表現したものではないか、と思われまふ。15 世紀のルネサンス期になると、聖職者から流行して一般市民でもこのような形の帽子を被るようになり、以後は学生さんの帽子として定着します。中でも一番、定着したのが現在のドイツなのです。

ナポレオン戦争（1803-15）の時、ドイツで志願者による愛国義勇軍が多く結成され、学生たちが学帽を被って志願しました。1813 年に、これがそのまま制帽に転用されていきます。当時、一般的な軍帽はフランス風のものでしたが、より愛国的な帽子としてドイツで定着しました。そういう経緯ですので、フランス陸軍では今でもこういう帽子を絶対に被りません。フランス独自のケピという筒型の軍帽を被っています。

帽子一つとっても、いろいろな背景があることが、ご理解頂けたかと思ひます。

ところで、なぜ初期の軍服はあんなに赤とか黄色とか、派手な原色だったのでしょうか。

黒色火薬の時代、戦場は濛々たる煙で一丈先も見えない状況だったのです。そういう状況なので、指揮官から見て自分の部下がどこに展開しているかを把握することが重要でした。

しかし、銃の能力が向上してくると、遠くから狙撃される危険性が増して、目立ちすぎる制服は徐々に問題となります。そこで 1848 年に、インド駐在の英国軍で、ハリー・バーネット・ラムデン中尉という人物が、泥で染めた軍服を採用しました。これがヒンディー語で泥を意味する「カーキ色」軍服の原点です。第 2 次大戦前夜、さらに戦場で地形に溶け込むために、1936 年にドイツの武装親衛隊で初めて迷彩服が登場します。カモフラージュ柄がいよいよ出てくるのです。こうして今、災害現場で自衛官が着ている戦闘服が広まるのです。

かつてアメリカ軍の軍服の色として世界中で大流行した緑色の軍服は、世界的には減っています。米陸軍は 1954 年から 60 年間以上、使い続けた緑色の軍服、グリーン・サービス・ユニフォームを廃止しました。これに合わせるように、21 世紀に入ると、それまで世界最強である米軍の色調ということもあって、広く流行していた緑色の常装は、現在では世界的には

ほとんど姿を消しています。ところが不思議なことに、日本の周辺国では中国、韓国、ロシアと、緑を軍服の基調に使用している国が今でも多いのです。それは各国なりの背景や思惑があるわけです。中国は毛沢東が、ロシアはピョートル大帝が定めた色なので、安易に変更できないのでしょうか。韓国は、元々はアメリカ軍の真似で緑だったのですが、それがなぜ、今でも緑を続けているのかよく分かりません。韓国という国家がこれから、どちらを向いて行くのか、軍服の色一つとっても透けて見える気がしないでしょうか。

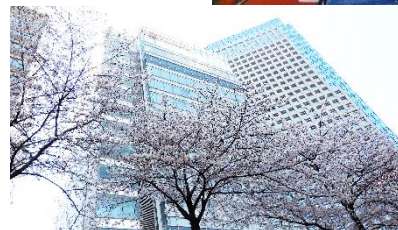
昨年 5 月、陸上自衛隊が新しい制服、16 式常装を採用しました。従来の緑色から、紫がかつた紺色、紫紺色に変化したのも、まさに国際的な軍装界の変化の反映と言えます。紺色は古来、日本の伝統色としては褐色（かちいろ）と呼ばれ、「勝ち色」に通じるとして武家に好まれた色です。明治陸軍は特に「軍勝ち色」と通称しました。また、紫は古代以来、勅許がなければ使用できない禁色で、最上級貴族が用いた高貴な色。鎌倉期以後は武家でも尊ばれ、征夷大將軍の専用色でした。ルーツへの回帰傾向が強く見られる昨今の世界の軍装から見て、国際的にも納得され得る変化だったと考えています。

米陸軍はつい数年前に新型の軍服を更新し終えたばかりですが、2017 年初冬、さらに新しい勤務服を導入することを発表しました。それはなんと、第 2 次大戦から朝鮮戦争の時代に着用された軍服をイメージしたもので、上着はオリーブドラブで、一応「グリーン」と呼んでいます。実際の色は戦時中と同じく、ほとんどチョコレート色です。2020 年 6 月 6 日、ノルマンディー上陸記念日に正式な着用を開始する方針です。アメリカの「本当の戦勝国はアメリカだけだ」という強いメッセージを感じるのは、私だけではないと思ひます。

閉会点鐘

奥山 聡会長

1172 回 2019 年 4 月 3 日（水）観桜会
千代田のさくらクルーズ



<出席>

会員 18 名
ゲスト 4 名

角田 靖様
大原さとみ様
山田ひろみ様
秋澤 光様